

題材 「 미래のさくらちゃんを作ろう 」 全4時間中の第3，4時

(1) 学習のねらい

未来のさくらちゃんに興味を持ち、紙粘土を使って未来のさくらちゃんを作り始めた子どもたちが、友だちの作品作りの動画を見ることを通して、自分一人では想起することのなかった新たなアイデアや工夫に気づき、鑑賞会も行いながら未来のさくらちゃんについて自分なりに表現を深めることができる。

(2) 本時の学習材

友達の商品づくりの動画

- 子どもたちが前時までの活動を思い出し、作品作りを始めたいと感じたところで学習材を提示する。
- 本学習材は、教師が子どもたちの作品作りの中でその場面を撮影した動画である。この学習材を見ることで、自分一人では想起することのなかった新たな表現方法やアイデアに出会うことができるだろう。そして、作品作りが難しいと感じている子どもたちが、自ら前向きに作品作りに取り組めるようになることが期待される。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1. 前時の活動で友達の工夫しているところの動画をモニターで確認する。	学習問題	5'	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙で前時の活動を振り返る。 ○紙粘土で未来のさくらちゃんを作ったことを思い出したところで学習材を提示する。 <p style="text-align: center;">学習材</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 友達の作品作りの動画 </div>
	2. 前時の続きで創作活動を行う。 ①紙粘土 ②箱の装飾	さくらちゃんの未来ってどんな感じ？ ・色の混ぜ方がいいな。 ・きれいだな。 ・こんな粘土の使い方があったんだね。 ○ほかにもいろんな工夫ができそうだな。 ・さくらちゃん完成した！ ・箱も装飾したい。 ・時間がないよ！ ・もっとやりたい。 ・むずかしいけど楽しいな。	60'	
展開	学習課題 友達の作品を見て、さくらちゃんのイメージをもっと想像してみよう。			<ul style="list-style-type: none"> ・3，4時間目の間の休み時間は休憩を取りたい子は休憩を取らせるようにする。 ・机間指導では、悩んでいる子へ子へをかけ一緒に考える。 ・この最後の子どもたちからのメッセージから、自分には「体育」という得意分野があると改めて気づいた。取り組む時間を指定し、時間に遅れないようにする。 ・作品作りを終わり、鑑賞シートを配って友達の作品の工夫しているところを書く。 <p style="text-align: center;">評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 友達の作品作りの動画を見たり鑑賞したりして、いろいろな工夫を加えながら未来のさくらちゃんを自分なりに表現できる。 </div>
	3. 友達の作品の鑑賞会をする。	・○○ちゃんは顔も粘土で作ったんだ。 ・これ何？ ○さくらちゃんの将来のために自分ができることをもっとやりたいな。 ○いろいろなさくらちゃんの未来があるね。	15'	
終末	4. 振り返り・片づけ	・頑張ってさくらちゃんの赤ちゃんが見たいな。 ・さくらちゃんのこんな未来は思いつかなかったな。	10'	